

interview report
Company & Sports vol.29
企業スポーツ振興協議会

株式会社 日吉

Athletics

山田 隼人 選手

所属：日吉 陸上部（やり投）
滋賀県大津市出身。2025年兵庫リレーカーニバル優勝、国民スポーツ大会4位。2026年セイコーゴールデングランプリ東京出場、織田幹雄記念国際陸上競技大会4位などの実績を持つ。

横山 大空（そら） 選手

所属：日吉 陸上部（200m）
滋賀県大津市出身。2025年日本学生陸上競技対校選手権で3位入賞。東海学生記録保持者。2025年静岡国際陸上競技大会5位の実績、日本陸上競技選手権大会出場などの実績を持つ。

滋賀県から全国へ環境サービスを行う株式会社日吉。2026年から新たに2名が加わり、現在同社に所属するアスリート社員は5名となった。陸上部に所属するのは、やり投の山田隼人さん、今年入社した200mの横山大空さん。それぞれが日本代表を目標に、日々競技に打ち込んでいる。

山田さんは小学1年生から陸上を始め、高校で長距離からやり投げへ転向。「やり投はやっぱり、かっこいいですよね。長い槍にまっすぐ力を伝えるのは難しいんですが、それをどれだけ遠くに投げられるかという、そのシンプルさがこの競技の魅力」と語る。一方の横山さんは、持ち前の足の速さを生かして、中学から陸上の道へ。200mという競技の見どころは、「コーナーを抜けてから、ラストの直線勝負。誰が勝つかわからないところが面白い」と話す。

2人の練習は週5日、勤務後から21時すぎまで。「時間が限られる中で、いかに集中するかを意識しています」と、山田さん。横山さんは、今までにない、一人で走るという練習環境で







試合感覚をつかむ難しさを感じながらも、「妥協しないこと」を大切にしているという。

2人の「自分に負けない」「妥協しない」という意識は、仕事においても、ミスのないよう細部まで確認する丁寧さや、学び続ける姿勢につながっている。遠征費や消耗品費の支給、試合時の勤務配慮など、会社のサポートがあることも、競技を続ける上での大きな支えだ。「日の丸を背負って世界を目指したい」という山田さんと、「目標は、日本選手権で優勝し、日本代表になること」という横山さん。高い目標を掲げる2人の挑戦は、これからも続いていく。





私をキラめかせるコトバ

『全戦全笑』
冷静さを失わず
常に笑顔を心がけています。
山田 隼人



『為せば成る』
努力を重ねながら
目標に挑戦し続けたいです。
横山 大空

上司からのメッセージ



総務部 部長　梶田 由胤さん

彼らの活躍がきっかけとなって、社員同士の新たなつながりや会話が生まれています。競技で良い結果を残し、多くの人が応援したくなる存在になってほしいです。スポーツでの頑張りが若い世代の選択肢を広げ、地域や企業を活気づける原動力になることを期待しています。

株式会社日吉の残る3名のアスリート社員は、バスケットボールの地域ブロックリーグ（SB2）で戦う「LAKE BLUE」に所属する、立石天馬さん、犬山咲人さん、岡崎海志さん。3人とも家族の影響でバスケを始め、高校・大学時代には全国大会や全九州リーグ、関東大学選手権での優勝や準優勝など、第一線で活躍。社会人の現在も国スポや全国社会人大会の出場など、実績を重ねている。

仕事と競技を両立する中で、「練習の質を高めることを以前より真剣に考えるようになった」と、立石さん。岡崎さんも、「自分の体のケアに時間をかけるようになった」と同意する。また、犬山さんは、競技ができる環境が当たり前ではないと実感する一方で、「遠征の交通費支給や試合の振替休日など、会社のサポートには感謝しています。応援してくれる会社や地域の方に、結果で恩返ししたい」と話す。









「個人だけでなく、チームが同じ方向を目指す大切さは、仕事でも同じ」と犬山さん。スポーツで培った経験は、仕事にもつながっている。「今、自分に何が求められているのかを考えて行動する姿勢は、仕事にも活かせると思う」と、岡崎さん。アスリート社員としての目標を「仕事をする上でも選手としても、日吉に迎えてよかったと思われる人になりたい」と、立石さんは語る。

ファンとの距離の近さも社会人バスケの魅力。LAKE BLUEが開催する小中学生向けのバスケクリニックなど、コートの外でも地域のファンと交流しながら、子どもたちに夢や挑戦する心を伝え続ける。

私をキラめかせるコトバ

『限界のさらに向こうへ』
好きなアニメに出てきた言葉。
強い意志を感じます。
立石 天馬





『失敗を恐れない』
体のケアを徹底し、高い目標へ
挑戦し続けます。
岡崎 海志

『当たり前のことを
当たり前に』
支えてくれる環境に感謝を
忘れず、基本を大切に。
犬山 咲人



上司からのメッセージ



薬品部薬品課　課長　山田 典弘さん

これまでスポーツに興味のなかった人が会場へ応援に行ったり、動画をチェックしたりする様子を見ると、彼らの影響力の大きさを感じます。仕事と競技の両方で評価される存在となり、その姿が会社の力になればうれしく思います。

HIYOSHI
株式会社 日吉
523-8555
滋賀県近江八幡市北之庄町908番地
TEL:0748-32-5111



Basketball

立石 天馬 選手

所属：LAKE BLUE（ポジション:F）
長崎県島原市出身。全国高校選手権長崎県予選優勝、全九州大学リーグ準優勝・敢闘賞を受賞。2026年全日本社会人プレミアムチャンピオンシップにも出場。

犬山 咲人（さくと） 選手

所属：LAKE BLUE（ポジション:SG）
長崎県長崎市出身。全九州大学リーグ準優勝・優秀選手賞を受賞。2025年国民スポーツ大会や2026年全日本社会人プレミアムチャンピオンシップで実績を重ねる。

岡崎 海志 選手

所属：LAKE BLUE（ポジション:PG）
和歌山県有田郡有田川町出身。2025年関東大学選手権で優勝し、3連覇を達成。全国高校選手権や全日本大学選手権に出場するなど、全国の舞台で存在感を示した。

